

憂きことも耐へ忍びましたことは、敬服の外なく私共皆存じて居りますので御座います。

○自重心に訴へて

岡山市 幼稚園長 折井彌留枝

無口なる女兒の園内に於ける有様を申し上げます
年齢は唯今六歳余で、来る四月より尋常へ入學の筈であります。入園は大正三年九月で有りますが、爾來同四年三月迄年少の組に編入して有りました。入園以來一ヶ年間は殆ど一言も申せし事なく、朝夕の挨拶は勿論、其他自身より語る事もなく、尋ねし事も答へず恰も啞者同様の子供で有りました。が、日日手をかへ品をかへ、種々誘導いたしました。て、常に此子供の爲に特に注意をして個性を調べて居りました處が、此節では其甲斐が有りました、段々ものを言ふ様になりました。今其狀況を申し上げますが、先づ入園後二週間程は腰を掛けず、

只々保育室の隅へ〜と後ずさりするばかりで、顔をあげず、只俯いて下をながめるばかりで有りました、殆ど困りましたが、段々馴れると共に二ヶ月程してから、腰を掛ける様には成りましたが、唱歌をうたはず、遊嬉や手技などには一向手も出さず、一體何が面白くて日々通園するのか殆んど分らず、色々研究いたして居る中に、早や年度も變りまして、大正四年四月となりましたから、年長の組へ繰上げたならば、何かの動機に依つて口をきく様になるかも知れぬと思ひまして、組を繰上げました。處が一期の間は相變らず元の通りで有りました。併し様子を見るに年長者の組に繰上げられたのは、少しもいやな様子でない様である。斯くて第二期に入つた頃、其子供を別室に招き色々物語をいたしました末に、「アナタ」も一つ年も大きくなつて大きな組にお成りなされたのに、なせ物をおよいなさないのですか、先生が呼びました時にお返事をなさらない様では大變困りますから、

朝の御挨拶やお歸りの時に左様ならと云ふ事や、先生がお呼びになつた時には直ぐ「ハイ」とお返事をして戴きたいのです。若しお返事が出来ませんならば元の年少の組へ歸つて戴きませうと話しました。處が意外にも『御免』と謂ひまして聲を立てて泣きました。其時には私も思はず嬉し涙に暮れました事でした。夫から受持保母さんに渡ししましたのですが、其日の歸りの時には各組の先生に挨拶をして歸りましたので、一同驚く斗りに歡びました。夫れが丁度大正四年九月十五日で有りまして、入園より滿一ヶ年経過した時で有ります。引續き其翌十六日の事で有りますが、電車話を聞きまして興味を持しと見え、襷紙にて電車を溜みました事が、そもそも入園以來初めての動作で有りました、爾來今日迄で他の子供と同様に保育を繼續して居ます。次に九月廿七日から畫方が出来る様になりました。初め兔の襷紙を貼付ましたのが動機となりました、草を畫き始めました。猶

同十二月十七日の事一同に人間をおかきなさいといつて試みました處が「マント」を着た愛らしき女子を畫きましたが、實に其綿密な事と且注意力に富んで居る事に驚かされました。尙該兒の嗜好物としては、襷紙と畫をかく事で有る様です。其他動作遊嬉の時には只進行のみで有りましたのが、近頃少しは動作などをいたす様になりました。尤も園外遊戯などには少しも運動などをせず。又他兒とも遊びませず、一定の場所に立つた儘で居るので有りますので、努めて保母が注意を加へ誘導致して色々運動をなす様に勸めて居ます。

殊に困りますのは辨當を持って郊外保育に出ました時などにも、食物を口に入れる事もせず、只立つた儘で殆んど何にたとへ様もありません始末で有ります。昨年の秋當地奥市公園へ參りました時、始めてお辨當を無理から戴いたといふ工合にて、實に氣の毒な程憐な子供で有ります。どうかして普通の子供に致して遣りたいと思ひ日々特に注意

して保育を致して居ます次第で有ります。

偕て家庭の關係を調べて見ますると士族の産で有りまして、極めて嚴重なる家庭にて両親も揃ひ居り姉もあつて一番末子で有りますが、尙ほ家庭に在るときの實際の有様を聞きますに、家に有つても矢張り無口にて極めて恥かしがりといふ方にて、他へ嫁ぎし姉さんが久振にて參りても、一向口もきかずに只恥づかしがるといふ始末で有さうです。たゞ幼稚園の事などは歸宅すると一々両親に話を爲し、又唱歌遊嬉なども楽しく温習をいたす様子で有ります。

然るに此家の遺傳とも申すべきか、此子供の内身の者に極めて無口なる人がありまして、學校にても一言も發せず、遊歩時間に於ける居處も常に一定せられて、其場所に穴があくとまでいはれたさうで有りますが、何事も言葉にあらはすより筆で書きあらはす方が立派であるといふ事を聞き及びましたので矢張遺傳的で有る事が解りました。又

家庭にて遊ぶ時にも手の汚れる事などは決してせず誠に潔癖で有るさうであります。

又身心の方面より申せば身體の發育は普通にて壯健で有ります。性質は綿密、動作沈鬱、習癖恥がり、潔癖、又幼稚園にて貸與する玩具其の他器具鉛筆、粘土等に至るまで一切不潔な品である様と思つて居るやうで有ります。又常に愉快らしく笑顔した時を見受けた事が殆んど有りませんです。

前述のやうなる次第で有りますので、特に保育上の注意を拂つて居ります。又成る丈けものをいふ動機を作つて與へて居ります。然るに此子供が一ヶ年餘にして漸くものをいふ様になりましたのも、玩具や畫などにて誘導いたした結果ではありません。畢竟倉橋先生の御持論の如く全く之が信念に依て眞心を込めて彼に十分同情を寄せて得られたる賜で有ると存じますが、猶殘る三ヶ月間には又幾分かの効果を得られる事で有らうと存じて居ります。何卒不相變御示教のほどを願ひます。